



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社ペルーナ 上場取引所 東  
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	46,155	9.9	1,951	△21.2	1,775	△60.7	1,113	△61.2
2019年3月期第1四半期	41,979	2.0	2,476	△13.7	4,517	27.4	2,866	△7.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 556百万円(△81.9%) 2019年3月期第1四半期 3,072百万円(△0.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.50	—
2019年3月期第1四半期	29.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	213,897	100,063	46.5
2019年3月期	213,786	100,533	46.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 99,397百万円 2019年3月期 99,830百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	87,000	9.9	4,500	16.9	4,800	△27.5	3,340	△21.0	34.49
通期	185,000	4.1	14,000	16.6	15,000	△2.0	10,500	1.5	108.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	97,244,472株	2019年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	547,210株	2019年3月期	186,254株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	96,838,256株	2019年3月期1Q	97,235,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が持続しております。一方で、米中貿易摩擦に伴う国内経済への影響が顕在化しつつあるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）による市場の拡大は続いているものの、天候不順や自然災害の頻発の影響、また、カタログ通信販売においては、用紙代の高騰の影響など、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は46,155百万円（前年同期比9.9%増）となりました。一方で、用紙代の値上げによる影響や、前連結会計年度に取得したさが美グループホールディングス㈱について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで営業利益は1,951百万円（同21.2%減）となりました。また、為替相場の変動による損益が前年とは逆にマイナスとなり、経常利益は1,775百万円（同60.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,113百万円（同61.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

## 〔総合通販事業〕

用紙代値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は21,466百万円（同5.2%減）となり、セグメント利益は787百万円（同39.2%減）となりました。

## 〔専門通販事業〕

化粧品事業を中心に好調に推移し、売上高は11,427百万円（同2.2%増）となり、セグメント利益は800百万円（同19.1%増）となりました。

## 〔店舗販売事業〕

前連結会計年度に取得したさが美グループホールディングス㈱について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで、売上高は7,169百万円（同104.9%増）となったものの、セグメント損失は369百万円（前年同期は62百万円のセグメント利益）となりました。

## 〔ソリューション事業〕

通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移し、売上高は1,955百万円（同34.6%増）となり、セグメント利益は662百万円（同16.7%増）となりました。

## 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は1,034百万円（同13.6%増）となりました。一方で、延滞債権の増加に伴う貸倒引当金の増加により、セグメント利益は339百万円（同4.3%減）となりました。

## 〔プロパティ事業〕

前連結会計年度に開業したホテルの売上が寄与し、売上高は1,964百万円（同62.2%増）となり、セグメント利益は51百万円（同12.1%増）となりました。

## 〔その他の事業〕

卸売事業を展開するフレンドリー㈱が大ロクライアントの事業撤退などにより苦戦し、売上高は1,393百万円（同0.5%減）となり、セグメント損失は232百万円（前年同期は170百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比2,246百万円減少し、96,998百万円となりました。これは主に商品及び製品が2,213百万円増加した一方で、現金及び預金が5,309百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比2,357百万円増加し、116,899百万円となりました。これは主に建物及び構築物が2,012百万円、建設仮勘定が1,025百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比110百万円増加し、213,897百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比10,034百万円増加し、63,497百万円となりました。これは主に未払法人税等が2,837百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が4,737百万円、短期借入金7,887百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比9,453百万円減少し、50,336百万円となりました。これは主に長期借入金9,605百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比580百万円増加し、113,834百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比470百万円減少し、100,063百万円となりました。この結果、自己資本比率は46.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月13日の公表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,071	16,762
受取手形及び売掛金	9,739	10,485
営業貸付金	23,781	24,631
有価証券	1,197	1,311
商品及び製品	20,855	23,069
原材料及び貯蔵品	1,464	693
販売用不動産	3,418	3,409
仕掛販売用不動産	6,662	7,033
その他	10,597	10,179
貸倒引当金	△544	△578
流動資産合計	99,244	96,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,960	30,973
機械装置及び運搬具(純額)	735	719
工具、器具及び備品(純額)	1,226	1,189
土地	43,646	43,617
リース資産(純額)	215	193
建設仮勘定	8,420	9,445
有形固定資産合計	83,204	86,138
無形固定資産		
のれん	2,293	2,153
リース資産	596	836
その他	8,364	8,185
無形固定資産合計	11,253	11,175
投資その他の資産		
投資有価証券	12,428	12,173
長期貸付金	1,799	1,758
破産更生債権等	206	205
繰延税金資産	1,585	1,408
その他	4,689	4,654
貸倒引当金	△626	△616
投資その他の資産合計	20,084	19,585
固定資産合計	114,542	116,899
資産合計	213,786	213,897

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,093	21,830
短期借入金	14,368	22,255
未払費用	10,043	10,035
リース債務	406	419
未払法人税等	3,652	815
賞与引当金	757	451
返品調整引当金	94	108
ポイント引当金	492	453
その他	6,554	7,127
流動負債合計	53,463	63,497
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,339	35,733
利息返還損失引当金	661	689
リース債務	425	627
退職給付に係る負債	236	225
役員退職慰労引当金	258	252
資産除去債務	914	924
その他	1,955	1,884
固定負債合計	59,790	50,336
負債合計	113,253	113,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	80,816	81,202
自己株式	△167	△466
株主資本合計	102,215	102,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	672	599
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△2,988	△3,441
退職給付に係る調整累計額	△61	△55
その他の包括利益累計額合計	△2,385	△2,904
非支配株主持分	703	665
純資産合計	100,533	100,063
負債純資産合計	213,786	213,897

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	41,979	46,155
売上原価	17,948	19,045
売上総利益	24,031	27,109
返品調整引当金繰延差額	25	13
差引売上総利益	24,005	27,096
販売費及び一般管理費	21,528	25,144
営業利益	2,476	1,951
営業外収益		
受取配当金	161	87
為替差益	275	-
デリバティブ評価益	1,434	-
その他	246	179
営業外収益合計	2,118	266
営業外費用		
支払利息	38	41
支払手数料	3	3
為替差損	-	121
デリバティブ評価損	-	249
その他	35	26
営業外費用合計	76	442
経常利益	4,517	1,775
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11
特別利益合計	-	11
特別損失		
固定資産除却損	-	8
減損損失	-	1
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純利益	4,517	1,777
法人税、住民税及び事業税	1,492	581
法人税等調整額	163	94
法人税等合計	1,656	676
四半期純利益	2,861	1,101
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,866	1,113

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,861	1,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△73
為替換算調整勘定	219	△477
退職給付に係る調整額	0	6
その他の包括利益合計	211	△544
四半期包括利益	3,072	556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,040	593
非支配株主に係る四半期包括利益	32	△37

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	22,459	11,151	3,498	1,369	910	1,205	1,384	—	41,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	190	27	—	83	—	5	16	△324	—
計	22,650	11,179	3,498	1,453	910	1,210	1,401	△324	41,979
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,295	671	62	567	354	46	△170	△351	2,476

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△219百万円とのれん償却費△132百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	21,347	11,397	7,169	1,904	1,034	1,941	1,361	—	46,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	30	—	51	—	22	32	△256	—
計	21,466	11,427	7,169	1,955	1,034	1,964	1,393	△256	46,155
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	787	800	△369	662	339	51	△232	△88	1,951

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳51百万円とのれん償却費△139百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。